

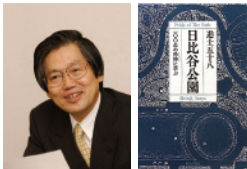
バンカースクール
二〇二二年 六月・七月期募集案内

BankARTschool

BankARTスクールは、横浜・馬車道に残る歴史的建造物を芸術文化に活用したBankART1929のプログラムのひとつとして、2004年4月に開校しました。BankARTスクールの守備範囲は美術・演劇・写真・建築・音楽・ダンスなどアート全般におよび、講師は各ジャンルの第一線で活躍する人たちばかり。子供向けのワークショップから専門性の高い講座までレベルはさまざまですが、いずれも少人数制で、講師と受講者同士の親密な交流を重視する現代の寺子屋をめざしています。BankARTスクールは日曜を除くほぼ毎日、休み無く開講しています。この7年もの間で講座231、述べ712人の講師の方々をお招きしました。受講生は4歳のおじょうちゃんから85歳のおじいちゃんまで、述べ3500人をこえます。ぶっちゃけ話、これらの講座をうけたところで即戦力にはならないし、なにか資格が得られるわけでもありません。受けるだけではなんの役にも立たないのです。むしろこれから自分たちでなにを立ち上げていくのか、それが問われているのです。

BankARTスクール校長 村田 真

進士五十八
これからの都市を、日比谷公園から考える
6/4、11、18、7/16、23、30 全6回



公園にも人生がある。公園の24時間、公園の109年を通して都市社会と時代の変化を読む

- 1. 本多静六の設計術 (1, 2章)
- 2. 憧れの3つの西洋 (3, 4章)
- 3. 震災時の日比谷・公園と防災 (5, 6章)
- 4. 末田ますのネーチャースタディ (7, 8章)
- 5. カップル等マン・ウォッチング (9章)
- 6. 井下清の公園人生とパークマネジメント (10, 11, 12章)

しんじいそや：東京農薬大学教授。農学博士。1944 年京都市生まれ。東京農薬大学農学部造園学科卒業。主な著書に『日本の庭園』『農』の時代』『都市になぜ農地が必要か』『ランドスケープアーキテクトの風景』など多数。84年第5回田村賞、89年日本造園学会賞、2007年紫綬褒章、第29回日本公園緑地協会北村賞、12年『日比谷公園』で、日本生活学会今和次郎賞、日本造園学会賞特別賞を受賞。

※この講座のみ受講料が12,000円になります。

清水寛二
能に出会う
6/5、12、19、26、7/3、10、24、31



能の美技ワークショップです。まず「構え」や「運び」という立ち方・歩き方から始め、基本的な能の身体の使い方(舞踏の側面を含む)や音楽構造(謡や囃子のこと)を学び、面や装束にも実際に触れる中で、能の戯曲や舞台の構造を理解してもらいます。集まるメンバーや進度によって具体的な進行は変えていくつもりですが、短い期間ながらそれぞれの作品を作れば幸いです。「構え」「運び」は、能役者がそれぞれの身体を、どう把握し改造し、どう能の中に生かしていくか一生追究するものですが、これはなかなか面白いものです。

しみずかんじ：観世流シテ方能楽師。1953年生まれ。鏡仙会所属。観世寿夫、八世観世鍬之丞(人間国宝)、九世観世鍬之丞に師事。「響の会」同人。復曲能や新作能などにも多く参加。多田富雄作の新作能「一石仙人」「長崎の聖母」「横浜三時空」「沖縄残月記」ではシテを勤める。世阿弥座などの海外公演にも多数参加。重要無形文化財総合指定保持者。大野一雄フェスティバル2011では、ダニー・ユン実験劇場に出演した。座間市在住。

内田真由美+児島やよい
アート・コーディネーターの仕事 vol.4
5/30、6/6、13、20、27、7/4、11、18



展覧会やアートイベントを実施するには、きめ細かな企画とコーディネーションが必要となります。「ネオテニー・ジャパン―高橋コレクション」展(2008～10年全国巡回)、三菱一号館竣工記念写真展「一号館アルバム」(2009年)ほか、2人が近年関わった展覧会の事例を中心に、キュレーター、コーディネーター、アートに関わる幅広い仕事について具体的にお話しします。

うちだまゆみ：三重大学教育学部美術科卒業。新聞社、出版社、ギャラリー勤務を経て、1994年よりフリーランスのアート・コーディネーター。第2回大地の芸術祭ブレイベント「中川幸夫・天空散華「花狂」」、「草間彌生 クサマトリックス」(森美術館)、「荒木経惟展」(江戸東京博物館)、「坂田栄一郎展」(丸の内エリア)、「梅枝代写真展」(表参道ヒルズ)などを企画、コーディネート。

こじまやよい：慶応義塾大学文学部卒業。OL時代とナンジョウアンドアソシエイツ勤務を経て、2000年よりフリーランス・キュレーター、コーディネーター。横浜トリエンナーレ2001、メゾンエルメス8Fフォーラムでの企画展「須田悦弘・中村哲也手の好き間」、「中川幸夫 誘いの夢…」、「杉本博司 歴史の歴史」、森美術館の「草間彌生 クサマトリックス」展などに携わる。ライターとして執筆活動も行う。慶応義塾大学、明治学院大学非常勤講師。

田中信太郎+原口典之
5/31、6/7、14、21、28、7/5、12、19



1960年代～70年代に衝撃的にデビューし、現在も活発に活動されている日本現代美術の重鎮を御招きするゼミを行います。詳しい内容は未定ですが、実践ゼミ形式になる予定です。原則として4回ずつの講座ですが、お二人一緒の日もあります。

「身体の残像と予兆 手の記憶と痕跡
眼のよるこび 眼の悲しみ 泉へ、透明な泉へ」
田中信太郎

たなかしんたろう：東京都生まれ。1959年より読売アンデパンダン展に出品。60年「ネオ・ダダイズム・オルガナイザーズ」に参加。69年パリ・ビエンナーレ、71年サンパウロ・ビエンナーレ、72年ベニス・ビエンナーレ等、国際的に活躍。最近では、2000年第1回越後妻有アートトリエンナーレにおける「赤とんぼ」作品や、01年インド・トリエンナーレ、03年国立国際美術館での回顧展など、充実した活動が続いている。

はらぐちのりゆき：1946年神奈川県横浜須賀生まれ。77年「ドクメンタ6」での出品で衝撃的デビュー。主な展覧会は、89年「現代美術への視点/色彩とモノクローム」(東京国立近代美術館)、97年「光州ビエンナーレ」(光州/韓国)、2001年「NORIYUKI HARAGUCHI」(レンバッハハウス市立美術館)、07年「黒の方形―マレーヴィッチへのオマージュ」(ハンブルグ・クンストハレ)、09年「原口典之展」(BankART Studio NYK)、11年「原口典之・若江漢字」(横須賀美術館)、12年「NORIYUKI HARAGUCHI」(McCAFFREY FINE ART/ NY)、「Cosmic Travelers」(エスパス ルイ・ヴィトン東京)など。

福住 康
アートの綴り方 vol.7―インタビューーズ
6/1、8、15、22、29、7/6、13、20



7回目の「綴り方」講座は、インタビューーを目指します。あらかじめ用意した質問項目に沿ってゲストの話を聴き、音声データの文字起こし、そして再構成。取材から記事まで、すべての行程を実践的に学びます。ゲストには川俣正さん、木下直之さんらを予定。講座の終了後に、有志でインタビュー集を発行します。

ふくずみれん：美術評論家。1975年生まれ。著書に『今日の限界芸術』、共著に『ビエンナーレの現在』、編著に『佐々木耕成展図録』など。「artscape」、「共同通信」で連載。東京芸術大学大学院、女子美術大学非常勤講師。



BankARTschool 2012年6-7月期 募集案内

BankARTスクールの概要

週1回、2ヶ月間で全8回。定員は20名程度。講座時間は19:30～21:30です。場所は、基本的にBankART Studio NYKになります。

スクール受講生の特典

受講生には学生証を発行します。また、BankARTショップでの買い物に5%割引、BankARTバブおよびカフェの1,000円チケットが10%割引となります。

お申し込み方法

①受講したい講座名 ②お名前 ③ご住所 ④電話番号 ⑤メールアドレスを、メール・FAX・電話のいずれかにてお知らせください。その際に受講料の振込先をお知らせいたします。1講座15,000円(税込)。はじめての方は入学金3,000円(税込)も一緒にお支払いいただきます。入金が確認でき次第、手続き完了となります。一旦納入された受講料は返金できませんのでご了承ください。また、講座によっては別途材料費や資料代がかかる場合があります。申し込み受付は定員になり次第、終了させていただきます。

お申し込み・お問い合わせ：BankARTスクール事務局

school@bankart1929.com TEL 045-663-2812 FAX 045-663-2813
BankART Studio NYK 〒231-0002 横浜市中区海岸通3-9